

あとがき

東京大学における人文地理学関係の専任教官は、教養学部前期課程（一般教育）では人文地理学会、同後期課程（専門教育）では広域科学科の人文地理分科、そして大学院では総合文化研究科の広域科学専攻広域システム科学系に所属している。しかし前期課程の人文地理学会、後期課程の人文地理分科、大学院の人文地理学分野の構成教官は同一であり、東京大学における人文地理学の研究・教育を事実上一元的に担う「人文地理学教室」として活動を続けている。

なお、1999年度までは理学系研究科の地理学専攻、2000～2001年度にはその後身の地球惑星科学専攻を兼担していたが、改組に伴って同専攻における大学院教育の状況が大きく変化したので、2002年度からは兼担を解くとともに、理学系に所属していた人文地理学分野の大学院生も総合文化研究科に移籍（転研究科）した。

2001年度末に田原裕子助手が転出し、後任の助手に新井祥穂氏を迎えた。こうして2002年度からは、教授2名（谷内達・荒井良雄）、助教授2名（松原宏・永田淳嗣）、助手（新井祥穂）、教室事務（渋谷桂子）、図書事務（亀井順子）が人文地理学教室を構成し、学外・学内の非常勤講師の先生方の御協力を得て、人文地理学の研究・教育のために活動していくことになった。

最後になったが各位から当教室に賜った御厚誼に厚く御礼申し上げるとともに、今後とも引続き御指導・御協力を賜わるようお願い申し上げます次第である。そして編集委員の松原助教授・新井助手及び編集作業に御協力を頂いた中村広幸氏に謝意を表して結びとする。

2002年春 谷内 達